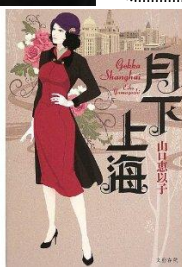
図書館だより　7月号

夏休み図書特別貸出！
何冊でも借りることができます！

これは事故か、殺人か。湯川が気づいてしまった真相とは―。夏休みを玻璃ヶ浦にある伯母一家経営の旅館で過ごすことになった少年・恭平。一方、仕事で訪れた湯川も、その宿に宿泊することになった。翌朝、もう１人の宿泊客が死体で見つかった。その客は元刑事で、かつて玻璃ヶ浦に縁のある男を逮捕したことがあったという。彼はなぜ、この美しい海を訪る町にやって来たのか･･･。「真夏の方程式」東野圭吾　文藝春秋　1,700円　映画原作本

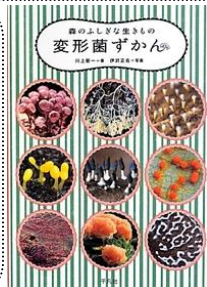
150年の時を経て発見され、世界的ベストセラーになったノンフィクション！1820年代のアメリカ、ノースカロライナ州。自分が奴隷とは知らず、幸せな幼年時代を送った美しい少女ハリエットは、優しい女主人の死去により、ある医師の奴隷となる。35歳年上のドクターに性的興味を抱かれ苦悩する少女は、とうとう前代未聞のある策略を思いつく。衝撃的すぎて歴史が封印した実在の少女の記録。「ある奴隷少女に起こった出来事」ハリエット・アン・ジェイコブズ　大和書房　1,785円

またひとり、ふしぎな話を語りに三島屋へと客人が訪れる･･･。江戸は神田にある「三島屋」では、若い娘が江戸中からふしぎ話を集めているという。そこでの約定はたった一つ。聞いて、聞き捨て。語って語り捨て。縁切りの池、泣きやまない童子、顔の変わる男――。ふしぎな話が、語る者、聞く者の心をゆっくりと解いてゆく。「泣き童子」　宮部みゆき　文藝春秋　1,785円

松本清張賞受賞！スキャンダルを逆手にとり人気画家にのしあがった財閥令嬢・八島多江子は、戦時統制下の日本を離れ、上海に渡った。謀略渦巻く魔都・上海で、多江子が出会う四人の男たち。憲兵大尉・槙庸平、民族資本家・夏方震、医学生ながら抗日運動に身を投じる黄士海、そして多江子の前夫・奥宮理偉。いま、運命の歯車が回り始める―。「月下上海」山口恵以子　文藝春秋　1,365円

ホラーなのに胸キュン！　片想いの美少女こよみと共に、奇妙に充実した「オカルト研究会」ライフを送る、大学生の八神森司。しかし桜の季節、こよみの元同級生の爽やかイケメンが現れて･･･。「ホーンテッド・キャンパス　桜の宵の、満開の下」　櫛木理宇　角川書店　620円

「希望」を信じて、男は覚悟する。慶国に新王が登極した。即位の礼で行われる「大射」とは、鳥に見立てた陶製の的を射る儀式。陶工である丕緒は、国の理想を表す任の重さに苦慮していた。希望を託した「鳥」は、果たして大空に羽ばたくのだろうか―表題作ほか、己の役割を全うすべく煩悶し、一途に走る名も無き男たちの清廉なる生き様を描く全４編収録。「丕緒の鳥　十二国記」小野不由美　新潮社　620円

捨てたはずの町だった。忘れたはずの過去だった。別れた妻の願いで故郷に戻った元新聞記者。彼を待っていたのは、悪意ある人々と７年前の死亡事件だった･･･。「正義をふりかざす君へ」真保裕一　徳間書店　1,680円

※閲覧注意！一部、パンダのイメージを損なう危険性のある画像が掲載されています。偶然に立ち寄った上野動物園で見たパンダの姿に衝撃を受け、以来、毎日撮影に通う著者による、おもしろパンダ写真集。「おつかれっ！毎日パンダ」貴氏貴博　飛鳥新社　1,100円

大好きなあの人を、殺してほしい　「秋になったら頼み事をされると思う。どんな突飛なお願いでも聞くだけ聞いてあげてほしい」。はるひからそう言われた僕は、実際に見知らぬ女性から頼み事をされる。だが、それは殺人依頼だった。困惑する僕に、女性は最愛の人との馴れ初めを語り始めるが･･･。「はるひのの、はる」加納朋子　幻冬舎　1,575円

後悔のない人生の選択をするために――深刻な男性不妊、卵子凍結・卵子提供の現実、最先端医療はどこまで･･･7,000人アンケートでわかった不妊大国・日本の姿。「産みたいのに産めない　卵子老化の衝撃」ＮＨｋ取材班　文藝春秋　1,470円

これまでなかった、クラゲの成長する過程を掲載！日本近海で見られるクラゲ、国内の水族館で見られる海外産のクラゲを含め約110種を紹介。「最新クラゲ図鑑」三宅裕志、ドゥーグル・リンズィー　誠文堂新光社　2,310円

キノコ、ウミウシ、コケの次には変形菌がくる!?　小さい! きれい! 形が変わる! アメーバのように動き、キノコのように胞子を飛ばす、動物でも植物でもない不思議な生きもの。変形菌(粘菌)の入門図鑑。「変形菌ずかん」川上新一、伊沢正名　平凡社　1,680円

今の10代、20代前半の気質は最大の武器になる。積極性がなく、反応がうすい「ゆとり世代」に手を焼いていた著者。しかし「逆手指導ステップ」を導入したら、驚くほど伸びた！「若者の取扱説明書」齋藤孝　ＰＨＰ　798円

日本の近未来を予言する、大反響シリーズ待望の完結編。「1%vs99%」の構図が世界に広がるなか、本家本元のアメリカでは驚愕の事態が進行中。それは人々の食、街、政治、司法、メディア、暮らしそのものを、じわじわと蝕んでゆく。あらゆるものが巨大企業にのまれ、株式会社化が加速する世界、果たして国民は主権を取り戻せるのか!?　「(株)貧困大国アメリカ」堤　未果　岩波書店　798円

電子通信網によって失うものに比べて、その恩恵は十分に価値のあるものなのか？孤独の増幅、悪意の増幅、良心の汚染、知性の汚染、正義の偏向、などのキーワードのもとで、ネット社会の現状と未来に警鐘を鳴らす。「ネットが社会を破壊する」高田明典　リーダーズノート出版　1,470円

一人ひとりの教育上のニーズを把握し、学習面や生活面の問題を解決するための指導と支援を行う。これが特別支援教育だ。小中学校の通常学級で6%、全国で60万人を超えると思われる「知的障害のない発達障害児」。彼らを含む、すべての障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた取り組みが、教育の場で始まっている。「特別支援教育」拓植雅義　中央公論社　924円

プロはどこを見ているのか？　嘘をどう崩すのか？　26年の検事経験が産んだ「プロの技術」を初公開！「嘘の見抜き方」　若狭　勝　新潮社　714円

プロの技術×高校球児の指導法　変化球の打ち方、カウント別の配球理論、守備のフォーメーション、バントの極意など、理詰めで野球が上手くなるヒントが満載！「高校野球は頭脳が９割」後原　冨　東邦出版　1,365円